

2021年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ

1 事業の成果

<全体>

令和2年度よりコロナ下の事業展開の厳しさを受け、経費節減しつつ、継続的な補助金事業を行い、新しい取組み（まちのがっこうプラスやヒトコトプラス）を立ち上げるなど行ったが、十分な発信（営業）活動が伴っていなかった。（発信がないと、地域課題解決にもつながらないという反省）地域女性活躍推進交付金事業（貧困女性支援）や休眠預金活用事業など国がらみの助成金事業にエントリーを試みたが、折り合いつかず見合わせることもあった。しかしながら、会費収入は構成割合としては小さいものの、堅調に伸びている。団体のネットワーク構築の為にも、基盤となる会費収益は重要だと認識。また、まちのがっこう事業を含む事業収益については、外的・環境的影響を受けにくい事が理解できた。

<各事業について>

①はたらく環境を、より良く変えていくワークライフバランス事業

- ・まつやま働き方改革推進会議事業やまつやま人口減少対策推進会議活動（ライフデザイン）は、多くの企業や団体等と連携しながら進めるが、計画性について課題が残った。
- ・自主事業では、講演や研修活動が自治体系が少しずつ増えてきたがまだ少ないのが現状。

②人を育て、マチを育てる次世代育成事業

- ・まちのがっこうをプラットフォームとした、愛媛県と松山市からの補助事業「休日子どもカレッジ」の認知度や必要性が高まっている。「良い活動」に収まらず、持続可能な取組みにしていく必要性。
- ・企業の社会貢献活動やSDGsの視点から「子ども食堂」やフードパントリーなどの活動が増えてきている中、企業との協働の「くりた子どもひみつきち」が具体的となり、今年度は準備に取り組んだ。
- ・小学生の探究学習スペース「まちのがっこうプラス」を5月からスタート。まだ少人数で手探りで講師とともに場所の意味合いを考えつつ地固めしている。

③人がつながる コミュニティ形成事業

- ・ワーコラカフェを中心としたオンライン交流会や講座を実施しているが、オンラインイベントや情報があふれているので、そこでいかに広報や集客をするかが難しくなっている一方で、県外や海外の方も参加できるというメリットもあり、発信の工夫が必要だと実感。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
目的を同じく する他の団体 との連携事業	まつやま人口減少対策推進会議 専門部会事業 (ライフデザイン プロジェクト)	4月～ 3月	愛媛県内	2名	一般市民、学生、 企業	1,714
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市中小企業振興円卓会議専 門部会事業 (まつやまワークワク部) 〈松山市の働き方改革推進〉	4月～ 3月	松山市内	2名	一般市民 (県 民)、企業	1,518
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市休日子どもカレッジ推進 事業 〈長期休暇中の小学生の居場所 づくりと地域で子育て支援〉	4月～ 3月	松山市内	7名	主として松山市内 の小学生のべ1000 名と保護者	6,629
目的を同じく する他の団体 との連携事業	愛媛県「三浦保」愛基金事業 〈学生サポート〉	9月～ 2月	松山市内	1名	松山市内団体、企 業、愛媛県民	320
目的を同じく する他の団体 との連携事業	愛媛子どもサポート事業助成金 〈預けて働く基礎知識講座実施 や動画作成〉	7月～ 2月	松山市	12名	愛媛県民	214
ワークライフ バランスに関 する啓蒙活動 関連事業	自主事業 ・まちのがっこう (Monthly、運営説明 ・休日子どもクラブ支援 ・まちのがっこうプラス ・ワーコラ交流会・カフェ ・キャリアコンサルティング ・企業支援、講演、相談、事務代行等	4月～ 3月	愛媛県内	7名	愛媛県民	5,515

15,910

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
	実施なし				